

研究課題名	バスキュラーアクセス閉鎖術の移植腎機能に及ぼす影響の検討
研究の意義・目的	欧米の研究において腎移植後のシャント閉鎖により腎機能悪化のスピードが若干早くなることが指摘されていますが、我が国においてその現象が見られるかどうかははっきりわかりません。本研究により我が国においてのシャント閉鎖が実際どれくらい腎機能に影響を及ぼしているかを調べます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2025年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2000年9月～2020年9月までに大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科でシャント閉鎖術を施行した腎移植患者さんの内、シャント閉鎖術後2年以上経過した方が対象になります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、手術歴、年齢、性別、身長、体重、原疾患、既往歴、透析歴、喫煙歴、移植条件、移植後経過、内服薬、検査データ、血圧】
試料・情報の他機関への提供	共同研究機関：北里大学泌尿器科、長崎大学泌尿器科、奈良県立大学泌尿器科から情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	北里大学医学部泌尿器科学講座 職名：講師 氏名：石井大輔 長崎大学医学部泌尿器科学講座 職名：准教授 氏名：望月保志 奈良県立医科大学医学部泌尿器科学講座 職名：教授 氏名：米田龍生
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究代表者 長沼俊秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 (担当者氏名) 長沼 俊秀 電話番号：(06) 6645-2393